

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

September
ISSUE



September, 2024
Volume 148

秋学期を迎えて

この4月の春に校長になってから、本当にあっという間に9月の秋になりました。入学式に始まり、始業式、学校説明会、授業参観、京都府私立小学校連合会の音楽会など、どれも初めての行事の数々。いろいろご迷惑をかけながらも、なんとか9月を迎えることができました。またその間、様々な喜怒哀楽を経験いたしました。数年分にも感じられるこれらの貴重な経験をこの短時間で得られたのは、これはひとえに、周りに居てくださる方々のおかげに他なりません。ここに感謝申し上げます。いつもありがとうございます。

本校の歴史も13年目に突入し、ついに1期生が大学を卒業する年齢になりました。特に、当時から本校で教鞭をとってくださっている先生方にとっては、思いもひとしお、先生冥利に尽きる限りかと思えます。

10年一昔。昔の人はよく言ったもので、13年もの月日が過ぎる中、世の中の情勢も開校当時とは大きく異なってきており、時代に合わせた、未来に向けた進化をする必要が出てきています。良きものは継承し、悪しきものは改善する。言葉では簡単なことですが、物事の本質を見極め、取捨選択をしながらこれを実現するということは、やはり非常に難しいと再認識しております。良い、悪いと白黒つけることができず、時にはグレーの判断をせざるを得ない時もあります。一見不条理に見えるかもしれませんが、これこそが、人工知能ではない我々人間だからこそ成せる業ではないかと感じます。

私は良く『何事も「腹八分目」がちょうど良い』

と覚えることがあります。おいしいものをお腹いっぱい食べたくりますが、食べ過ぎると苦しくなり、体調もおかしくなってしまいます。物事の判断も同じく、様々、もしくは、すべての事柄に対してルールや規則を作ることはできるかもしれませんが、そして、そのルールや規則にさえ従っていれば楽なのかもしれません。しかし、そのルールや規則に従順に従って、あまりにきっちり白黒つけてしまうと、今度は「遊び」がなくなり、実はうまくいかなくなることの方が多いのではないかと思います。車のハンドルにも、少々動かしても車の動きには反映されない「遊び」があるからこそ、安心・安全に運転することができるのです。もちろん、子供たちにも遊びは重要です。ある事だけを目一杯するのではなく、八分目にし、余裕を残すことが重要かと思えます。

自分の評価軸を持つことは大変重要です。しかし、自分の正義がすべてではありません。相手となる他の人にも正義があるのです。時に、それらの正義がぶつかり合うこともあります。我々人間は、その不都合に対して、うまく調和を図りながら未来に進んで行く必要があります。

効率や個人の利益だけではなく、心の豊かさや多様性を大事に、本校もうまく進化していければと思っております。それには、教職員や学校関係者だけではなく、保護者の方々、児童の皆様、地域の方々など、多くの皆様のご協力、意識改革が必要不可欠です。引き続き、お力添えをいただきますと幸いです。

校長 土屋 誠司



キリスト教教育

9月：調和 September: Harmony

聖書：「私は、闘いを立派に闘い抜き、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。」

テモテへの手紙二 4章 7節（聖書協会共同訳）

夏休みに入って間もない頃、家族が滞在中のオーストラリアを訪問しました。当初は特に観光目的があったわけではなく、たった4日間の短い滞在でしたが、家族に案内されて広々とした動物園や水族館、そこで伸び伸びと飼育されている動物たちを見て、すっかり魅了されてしまいました。特にワラビー（カンガルーの仲間だが少し小さめ）や、フェアリーペンギン（ペンギンの種類で一番小さい）と至近距離で過ごせる環境は、とても魅力的でした。

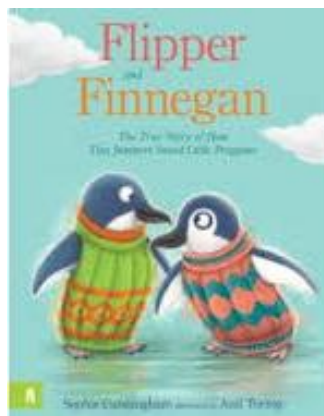
フィリップ島では「ペンギンパレード」というツアーに参加しました。これは日中海での狩りを終え、夕刻に浜へ上がって来て自分の巣穴へと戻っていくペンギンの行進を見る、というツアーで、ギフトショップにはありとあらゆるペンギンのグッズが取り揃えられていました。

その中で少し目を引いたのが、色とりどりのセーターを着こんだペンギンのぬいぐるみたちでした。最初はただのおしゃれかと思っていましたがそうではなく、これが今から20年以上前に起こった、フィリップ島近海の重油流出事故に関係していることを、後から資料で知りました。船舶事故で海上に流れ出した重油のせいで沖にいたペンギンたちが油まみれになり、体温調節ができないばかりか羽繕いの時に体に付いた重油を飲み込んでしまう危険性があったため、急遽ペンギンにセーターを着せることを思いつき、手編みのセーターの寄付が呼びかけられたのだそうです。

この時に色々な人からボランティアで多くのセーターが寄せられたそうですが、私が特に驚いたのは、オーストラリアの老人ホームで暮らす Alfie Date さんという、当時109歳の老人ボランティアの話です。彼は「リハビリを兼ねて。」という施設の看護師さんたちの勧めでペンギンのためにセーターを編み初め、結局亡くなるまでの2年間に膨大な数のセーターを寄付しました。そして彼に触発された世界中の編み物マニアらが一緒にセーターの寄付を始めて、今では十二分な数のセーターが集まったので、今度同じ様な事故があったとしても（ないに越したことはありませんが…）慌てることなく対処できるといいます。毎日浜に上がってくるペンギンは数千羽ですから、万一の場合でもペンギンを保護できる、というのは相当数のストックができたということで、人々の善意の結集は本当に素晴らしいものです。

前回筆者はこの欄で、ボランティアというものの考え方について、「善いサマリア人」の物語を例に書かせていただきました。その時は主に若者のボランティアが老人を励ます話が中心でしたが、今回フィリップ島のペンギン保護について学ぶ機会があり、人は何歳になっても、どんな状態にあっても誰かのためにできることがあるのだと知らされました。一体何人の人が老人ホームに身を置く109歳の老人に対して、新たな奉仕活動を期待したのでしょうか。しかしながら、その人その人が神から受けている「召命」は、確かにあるのです。

Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓



左：＜参考図書＞

“Flipper and Finnegan - The True Story of How Tiny Jumpers Saved Little Penguins”
-Allen & Unwin Books

実話に基づいて構成された絵本です。

＜お知らせ＞

9月10日（火）おにぎり献金

- ・国内：岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり、福島県の若松聖愛幼稚園、熊本県の慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、北陸学院キリスト教センター（石川県能登半島地震支援金口）
- ・海外：日本ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」・「シリア緊急募金」・「ガザ人道危機緊急募金」

今年度も上記の施設にお捧げします。賛同していただける方は、お子様に献金をお持ちください。

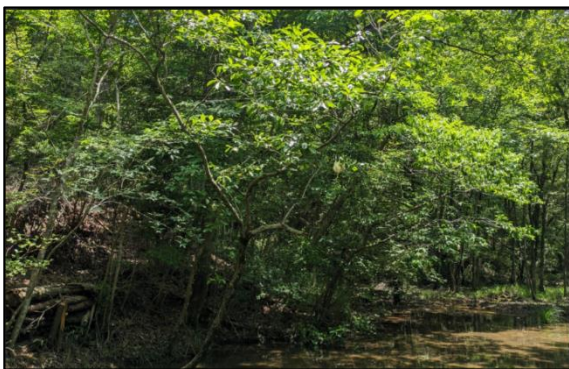
学校の外に飛び出して ～G1 春学期 校外学習～

2024年の春学期、1年生は3回の校外学習にでかけました。行先は京都市動物園、山城町森林公園、海遊館です。校外学習を通じて、教科の枠をこえたテーマ(Transdisciplinary themes) “Sharing the planet”の中心的アイデア(Central idea)「すべての生き物は、生き残っていくために、健康的な住む場所を必要とする」の理解を深めてきました。



まずは京都市動物園へ。動物園では、動物によって住環境や食べ物が違うことを確認しました。また学習を始める際、「私たち人間が生き残っていくために必要なもの」について考えました。すると、「水・食べ物・家・電気・家族」といった回答が出てきました。続いて、ヒト以外の動物が生き残っていくために必要なものについて考えるため、図鑑や本を中心に調べはじめました。調べてわかったことを表現するため、紙粘土や画用紙などを使用して動物のすみかをジオラマで表現しました。

ジオラマの準備を進めながら、山城町森林公園へモリアオガエルの卵を見学にいきました。豊かな森に囲まれ、澄んだ水が流れる環境にモリアオガエルは住んでいることを確認することができました。また、カエル以外にもカブトムシの幼虫の住まいにも出会うことができました。美しい自然の中で生きる生き物と出会うとともに、実際に私たちの日々の生活がどのように他の生き物とつながっているのかを考え始めるきっかけにもなりました。



ジオラマで生き物のすみかを作りながら考え始めたこと、それは「他の生き物に対する私たちの責任と、私たちができること」についてです。例えば、ホッキョクグマのすみかが気候変動によって変化している可能性を考え、絶滅するかもしれないという事実について議論をしました。また、川や海にプラスチックのゴミが広がると、川や海で住む生き物にどのような影響があるのかについて、絵本を通じて、また、写真を通じて想像しました。このように、私たち人間の行動と他の動物のす

みかとの関係について考えながら、海遊館では大きな水槽に住む生き物を見にいきました。

本や図鑑などの書籍からは、幅広く多くの知識を学習することができます。校外学習は、五感を使って学習することを可能にしてくれます。実際、ヒト以外の動物はヒトとは異なるすみかが必要であることを理解した上で、日々の人間の行動が他の動物のすみかに影響することに気づき始めました。その気づきの上で、日々の行動を見直しています。「電気を使わないときは消すこと。」「ゴミを減らすための行動(アクション)を選ぶこと。」など、自らの行動がどのような結果に結びつくのかについて想像しやすくなったのかもしれません。校外学習のような体験を通じた学びは机上での学習を大きく支えています。



中秋の名月

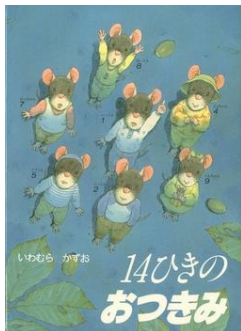
今年の中秋の名月は、9月17日です。
1年の中で月がもっとも美しく見える日と言われています。
まだまだ暑い日が続いていますが、月を見ながら涼しい気持ちになるのもよいかもしれませんね。
さて、今月は、そんなお月見がもっと楽しみになる、楽しくなる本をご紹介します。

『おつきみ』あまんきみこ/作 黒井健/絵 ひさかたチャイルド



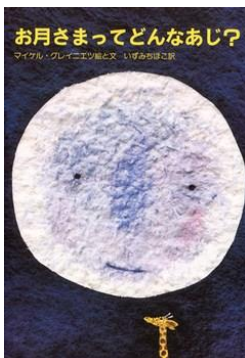
今夜は十五夜。えっちゃん、朝からおかあさんのお手伝い。
「おつきさんに そなえる おだんごをつくるのよ」「いそがしい いそがしい」とおだんごを丸めています。
横で見ていた子猫のミュウはちょっぴり不満気。「ぼくだって いそがしい」とつぶやいています。
しっとりとしたファンタジーのお月見絵本。

『14ひきのおつきみ』いわむらかずお/作・絵 童心社



滑車を使って、かごの中、ぐんぐん上に向かっていくのはくんちゃん。木の上高くに待ち構えているのはさっちゃん、ごうくん。ここからははしごを使って、さらに上へ。どんぐりの実がたくさん実る榎の木の、上へ上へとみんなが向かいます。落ちないように気をつけて！ 木の枝を切り、ひもで結んで、子供たちが一生懸命作っているものは――、お月見台。そうです、今夜は中秋の満月。14匹はみんな力で合わせ、お月見の準備をしています。

『お月さまってどんなあじ?』 マイケル・グレイニエツ/文・絵 いずみちほこ/訳 らんか社



「お月さまってどんなあじなんだろう」――動物たちはお月さまを見るたびに、そんな素朴な疑問を抱いていました。
ある日、小さなカメが、高い山の上に登ってお月さまをかじってみようと思ひます。山のとっぺんに着いたカメは、ここではまだお月さまに届かないことに気づき、ゾウを呼びました。ゾウがカメの背中に乗り長い鼻を伸ばすと、お月さまは「これは新しいゲームだな」と思い、ひょいっと上へ逃げました。

9月の主な行事・予定

9/11~9/13 G3 宿泊学習
9/24~9/27 G6 宿泊学習

1	日	
2	月	Unit3(week2) 通学ミーティング/Students` Commuter
3	火	
4	水	入学試験前日準備(午前授業)/Preparation for entrance exam (AM lessons)
5	木	入学試験/Entrance Exam
6	金	入学試験/Entrance Exam
7	土	
8	日	
9	月	Unit3(week3)
10	火	
11	水	クラブ活動/Club Activity G3 宿泊学習/ G3 Overnight trip
12	木	G3 宿泊学習/ G3 Overnight trip
13	金	G3 宿泊学習/ G3 Overnight trip G4 校外学習/G4 Excursion
14	土	
15	日	立石杯プレゼン大会/ Tateishi Cup Contest
16	月	敬老の日/Respect for Aged Day
17	火	Unit3(week4)
18	水	PYP Planning (AM lessons)
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	秋分の日/Autumnal Equinox Day
23	月	振替休日/Substitute Holiday for National Holiday
24	火	Unit3(week5) G6 修学旅行/ G6 Overnight trip
25	水	G6 修学旅行/ G6 Overnight trip
26	木	G6 修学旅行/ G6 Overnight trip
27	金	G6 修学旅行/ G6 Overnight trip
28	土	
29	日	
30	月	Unit3 Buffer week

10月の主な行事・予定

10/4(金)	G1 宿泊学習/ G1 Overnight Trip
10/5(土)	G1 宿泊学習/ G1 Overnight Trip
10/19(土)	スポーツデイ/ Sports Day
10/29(火)	避難訓練 / Evacuation drill
10/30(水)	PYP Planning (AM lessons)
10/31(木)	ハロウィーン / Halloween